

# Festina lente

January & February 2022 edition

共通テストまで



1/14(金) 大学入試共通テスト壮行会

## 2022年 新年のご挨拶

オミクロン株の感染力は凄まじいとの報道が続き、あっという間に新年が過ぎました。例年のように、学園は1月4日に中学校入試を済ませ、3学期のスタート。早速15、16日に高校3年生は共通テストに挑戦。大変慌ただしい1ヶ月でした。

去年は、引き続きのコロナ禍で学園の行事に色々と支障が有りました。修学旅行の中止は本当に辛いです。体育大会は屋内で開催、対外試合は延期または中止。生徒さん主催の学園祭も延期。また臨時休校に際しては、WEB授業を続けながら、なんとか日常を守りました。その分、各ご家庭には多大な負担をお掛け致しました。大変申し訳ございません。

実際、休校で生徒さんたちの居ない学園は、完全に廃墟となります。成長期の人間にとって、人々が集う対面でのコミュニケーションが絶対必要です。ただただ、コロナの終焉を願うばかりです。

そんなコロナ禍にあっても、学園の自然は変わらず、樟樹に囲まれた冬のキャンパスに、いつものように春が訪れ、木々が芽吹き美しい若葉でむせかえります。

教育には時間がかかります。

岩田のモットー「ゆっくり急げ」です。

本年も引き続きご指導、ご支援をお願い申し上げます。

岩田学園 理事長 成瀬輝一



## 岳人ノート ～校長通信～

これは、児玉校長から直接投稿された記事を掲載するページです。  
生徒・保護者の皆さんへのお知らせやメッセージ、また岩田の歴史を振り返る  
「岩田 Historia」の連載など、「岩田愛」あふれる内容をご堪能下さい。



### 3学期始業式の式辞より

おはようございます。あつという間の冬休みでしたが充実した期間になりましたか。でも、人間だもの、『毎日が充実』という日々が長く続かないことはあるものです。だからと言って、今の取り組みで満足ですか。どこに目標を設定していますか。いつも皆さんに言いますが、決して自分の力をみくびらないでください。モチベーションを高めて取り組むことで力は必ずついてきます。

今日、皆さんに話したいのは、『タフな人間をめざそう』ということです。大学や社会で活躍する人の多くが、『タフさを身につけることで力を発揮できた』とよく話します。この解釈を勘違いしてはいけません。例えば、『勉強しなくて結果が悪くても気にしません』という意味ではありません。では、どうしたら『タフな人物』になれるでしょう。『タフ』になるためには、大きく2つの姿勢が必要だと言われます。

1つめは、『不安や悩みは誰にでもある。成長に必要なんだ』と受け止める姿勢、2つめは、『うまくいかないときに悲観せず、人生これからだ』と前を向く姿勢です。この姿勢を表す有名なことわざに、『七転び八起き』があります。人生、何度失敗しても、これに屈せず奮い立つ姿を表現したものです。

しかし、「七度転んでも八度目に起きればよい」などと呑気に構えてはタフになれません。一度転んで気がつかなければ七度転んでも同じこと。そして八回目に起き上がることはできません。つまり、『たとえ転んだとしても、手は前につき、前に進んでいこう』という心構えが一番大切ということです。

最後に、『前向きな元気なんか出ない』、『やる気が上がらない』と感じている人へ補足します。元気で、そしてタフに見える人の多くは努力しています。悩みをたくさん持ちながらも、前向きに生きていくことで、元気を生み出しているのです。

さあ、2022年がスタートしました。『さあ、今年からだ。自分の力を発揮するぞ』と元気を出しましょう。私たち教職員は皆さんのやる気に全力で応えます。

2022年1月11日 校長 児玉洋司

### ■学校情報のリマインドや報告、新着情報など

#### 【確認や報告1～9】

1. 新型コロナウイルスの市中での感染拡大、また校内での複数陽性者確認を受け、2月2日(水)から休校措置を取る判断を致しました。

①寮は2月2日(水)から2月19日(土)の期間は閉鎖します。寮生は原則自宅へ帰省して下さい(海外を除く)。

②オンライン授業は2月19日(土)まで続きます。

③2月14日(月)からの対応については、県内・国内の感染状況を見ながら今週あらためて検討し、今週末に判断をお知らせします。

④3月1日(火)の高校卒業式は、対面方式で実施予定です。家族1名の参加で、昨年同様に録画した動画を(後日)配信予定です。

⑤学園祭は3月第3週(3/16・17)に短縮日程(2日間)で実施の予定です。場所や形式、イベント内容については変更案の話し合いを進めています。「まん延防止等重点措置」適用期間は一部の生徒(責任者・実行委員・スタッフ)を除き準備作業は一旦中止とします。

2. 中学3年、高校1年IWATAコースの海外修学旅行

高1IWATAコースは来年度(高2時)に国内代替、中3は2023年度へ延期と判断しました。

特に高校1年生IWATAコースは、学年および学校から意向調査(11/15,12/22)の結果を踏まえて判断しました。国内代替先については、複数の旅程案をもとに再度アンケート調査を行い決定します。その後、来年度1学期に国内修学旅行の旅程について説明会を実施します。

中学3年生については、2023年度の海外修学旅行を予定しています。

3. 高校1年APUコースの海外修学旅行 高1時の台湾研修旅行は中止(9/15通知)。高2時マレーシア修学旅行を実施予定。

4. 高校2年APUコースの海外修学旅行 海外は中止(9/15通知)。国内での修学旅行を来年の9月に予定します(11/12通知)。

※生徒・保護者対象の意向調査を踏まえて判断しました。

5. 岩田学園 学校感染症対応ガイドラインを改訂(六訂版)は、当初1月23日配信予定でしたが、最近のオミクロン株における濃厚接触者待機期間等の取り扱いが正式に決まってから配信します。

6. 学園祭は旧生徒会(5年生)中心の運営ですが、3学期クラスマッチから新生徒会による運営になります。実施可否については感染拡大状況等により判断します。

7. 来年度の体育大会の日程は、現在、2022年6月8日(水)を予定。リハーサル日は7日(火)で施設は昭和電工武道スポーツセンター。感染状況により家族の観覧有無を判断します。

◆岩田公式SNS“岩田Historia”…今回No.21, 22, SNSでは“岩田Historia25”まで公開中

21 ★岩田Historia21

1983年(昭和58年), 県内初中高一貫校“岩田中学校高等学校”開設。

『4月6日(水)1回生入学式。気温18度。雲ひとつなく澄み, 桜花らんまん。岩田中高門出の幸先よし。ピカピカの新入生25名。先生方は11人(全職員15人)。明後日からは湯布院オリエンテーション。』(担任:松野先生) Historia★

■写真:職員室と体育の様子



22 ★岩田Historia22

女子校最後の高校3年生と男子校1回生は, 1年間の重なりがありました。1つの終わりと1つの始まりの年でした。その後, 生徒寮は『樟風寮』に加えて, 樟英寮(現在の男子寮)が建設されました。数々の思い出を残した樟風寮にHistoria★

■写真:樟風寮と1回生の日誌(中1)



4月6日 入学式

4月8~10日 湯布院オリエンテーション

5月21日 球技大会

6月1~3日 初めての中間考査

6月8日の日誌より、  
「今まで2ヶ月間の授業態度がテストに出てしまった。やはり今までは遊びのようだった。」

7月16日 終業式

8月22日 始業式

令和4年度入試の岩田中学校入試は、県下では初となる Web 出願となりました。出願する方も、受け付ける方も初めてのことでしたので、「受験票のプリントアウトが出来ない」「写真を上手く貼り付けできない」といった問い合わせもありましたが、概ね順調に手続が完了しました。

令和4年1月4日、岩田中学校入学試験は、例年と同じ日程で実施されましたが、“オミクロン株”という変異株に不安を抱きながら、昨年の入試時以上の警戒心を持って入試業務に臨みました。受付で検温・手指消毒を行い、試験中もマスク着用で臨んでもらうようにしましたが、日常的に取り組んでいるようで、受付・受験・解散と、混乱もなく無事終了することができました。

1月6日（木）の合格発表時は、学園内の合格者掲示板の前にはマスク姿の受験生や保護者が集まり、喜びの声を上げたり、記念撮影をしたりという合格発表らしい光景が見られました。合格発表も Web 出願時のマイページで確認できるため、例年より来校される方は少なかったようにあります。

岩田中学校入学試験志願者数は253名で、大分県内からの出願者が244名、大分県外からの出願者が9名でした。少子化や県内の他の私立中学と同日入試となりましたが、志願者数が昨年度の229名より24名の増加となりました。SNSによる広報の成果か、制服変更の効果か、受験者数の増加は、入試に活力を与えるように思われます。

合格者数は、220名でした。合格者の平均点は、右の表のとおりです。昨年度は出題傾向を大幅に変え、大学共通テストを意識しての、「与えられた情報をうまく処理して、自分の言葉で明確に伝える」ということを念頭に出題いたしました。本年度は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、取り組みやすい問題としました。

各教科の合格者平均点の前年度比は、国語が16.6点、算数が7.6点、理科も1.4点の上昇となりました。社会のみが昨年より3.6点下がりました。合格者の平均点合計は187.1点となり、昨年より22点上昇しました。

合格者の最低点は、昨年度の120点から9点上がって129点となりました。

岩田高等学校 APU・立命館コースの入学試験は昨年11月4日（木）の帰国子女入試からスタートしており、既にニューデリー、シンガポール日本人学校からの帰国子女生2名の合格が決まっています。本年は新型コロナウイルスの影響で海外子女教育振興財団主催のアジア地区日本人学校説明会が実施できなかったこと、感染拡大による移動の規制が厳しくなったこと等で帰国子女の応募が少なくなりました。

1月18日（火）には、推薦入試を実施しました。推薦入試の志願者は8名となりました。高校の入試制度変更により英語1教科入試から英語・数学・国語の3教科入試にしたことにより、志願者から若干敬遠されたようにあります。コース設定の主旨から、語学だけの出題ではなく、総合力を見る出題にシフト替えしました。

全教科とも想定していたラインをクリアしており、どの受験生も大変よく学習できているという感想を持ちました。

今後、2月3日（木）の一般・前期入試、3月20日（日）の一般・後期入試と続きます。

### 【令和4年度中学入試結果】

#### ◎志願者数・合格者数

志願者数	253名
合格者数	220名

#### ◎一般入試合格者教科別平均点

国語	69.3点
算数	53.1点
理科	38.4点
社会	26.3点
合計	187.1点

合格者最低点	129点
--------	------



## 後期プレゼンテーション大会が開催されました！ ～ICT環境を駆使して分散実施～

APU・立命館大学進学コース担当 廣松 大和

1月26日（水）、2021年度APU講座後期プレゼンテーション大会が開催されました。この大会は、毎週水曜日に2時間枠で実施される探求型授業「APU講座I(4-4), II(5-4)」で学んだ知識、発表技術、スライド作成スキルの集大成を発表する場。今回は衛生管理上の懸念の高まりを受け、実施形態を工夫して開催しました。生徒たちは審査員と撮影機材に向かってプレゼンテーションを行い、観覧する生徒は各自の教室のモニターでオンライン会議ツールZoomを利用して参加。遠隔環境ながら、質疑応答ではカメラとインターネット越しに活発な応答が行われる場面も。生徒たちは着実に、新しい時代のプレゼンテーションスキルを身に付けていっているようです。

生徒たちは8月から新しくなったプロジェクトチームで、約半年間活動してきました。その中で、チーム作業に必要な様々な役割を学び、積極性・協調性・粘り強さといった資質を養いました。APU講座は高校大学連携プログラムの主要科目の一つであり、APU在学中の学生から選りすぐられたTeaching Assistantの方々が各グループのアドバイザーを務めます。ロールモデルの先輩と身近に接することで、知識やコミュニケーション技術をたっぷりと吸収できたことでしょう。

今回、高校1年生のテーマは「ビジネスでSDGsの課題を解決しよう！」でした。年度前半テーマの「SDGsアクションプラン提案」で学んだ知識を土台に、別の視点から更に発展させた形です。APUで教鞭を執るPhillip Pardo先生から直接ビジネスプランのいろはを学んだり、日本政策金融公庫の出前授業やコンテストにも参加。最終的なアウトプットの形は、スピーチ・スライド共に英語での発表。非常に高度な学びと探究、そして発表技術が求められる中、生徒たちは各チームが全力を出し切りました。生徒一人一人が飛躍的な成長を遂げ、大会ではどのチームも素晴らしい提案を見せてくれました。

高校2年生のテーマは「世界の困っている人たちにお土産を持って行こう」でした。インターネットで見つけた写真等から世界各国・地域の問題について考察し、それらを解決するためのプロダクトを実現可能性の高い「お土産」という形で提案するというものです。綿密なリサーチと分析で得られた情報を元に、創造性溢れる魅力的なアイデアを存分に披露しました。中には実物を見せて会場を沸かせたチームや、芝居調の掛け合いで観客を盛り上げるチームもありました。英語での発表も、高校2年生らしい非常に堂々とした姿が印象的でした。オンラインながら、見どころたっぷりの発表でした。

APU講座I・IIは今後（2月・3月）、両クラス合同で「フードロス」をテーマに計4回の番外編授業を実施します。APUの須藤智徳教授による豪華出前講座も予定。引き続き、APUコースの国際的な学びにご注目ください。

### APU講座I(4-4) 最優秀賞 グループB「食品廃棄物で作る家具」

メンバー:井上海、緒環衣桜、久田華、堀場碧海、山内綾

### APU講座II(5-4) 最優秀賞 グループB「コンデ村に突っ込んで！」

メンバー:岩田龍登、小川裕花、嶋岡穂菜、泥谷佳穂、中島悠貴、松實琉斗



# 部活動戦績(1月～)

## ■高校テニス部

第18回冬季新人テニス選手権本戦

日時：1/6(木)

会場：大分スポーツ公園テニスコート

<女子シングルス>

香嶋 1回戦 2-6 初戦敗退

<男子シングルス>

大谷 1回戦 4-6 初戦敗退

先月行われた同大会予選のパート決勝で敗退した選手が受けたラッキールーザーの抽選の結果、シングルスで男女合わせて3名が選ばれ、そのうち男女1名ずつが欠員が出たために本戦に繰り上げ出場となりました。年明けの入試で練習機会が確保できない状況の中での試合でしたが、それぞれ今できることをしっかりと出し切ることができたと思います。保護者の方には年明け早々の試合にもかかわらず送迎などでサポートをしていただき、ありがとうございました。(顧問 川元)

## ■インターアクトクラブ

12月26日(日)9:00~10:30

大分川河川敷清掃活動

大分舞鶴高校の向かい岸にある大きな石段を中心に、落ち葉等の清掃活動を行いました。冷たい風が吹く年末の寒い日でしたが、各自で分担し、また国交省大分国道河川事務所や大分キャピタルロータリークラブの方々と一緒に、計13袋の落ち葉を回収しました。今後も定期的に続けていきます。休日の送迎等、保護者の皆様の温かいサポートに感謝いたします。

(顧問 辰口)

## ■バスケ部

(高校女子)

1/9(日)R3年度 大分県高校新人大会

1回戦 岩田 59-55 楊志館

先のリーグ戦では20点差で負けた楊志館との一戦。チームでできる限り対策を練って試合に臨みました。終始接戦となりましたが、選手たちは一体感を持って最後まで集中力を切らすことなく、粘り強いDFで相手の得点を抑え勝利することができました。

(中学女子)

1/15(土)R3年度

全九州中学生春季選手権大会 県予選

1回戦 岩田 38-31 三重

2回戦 岩田 49-43 戸次

1回戦、2回戦共に両者一步も譲らない状況の中、最後まで諦めることなく、全員で声を掛け合いながら、お互いを鼓舞し合い頑張り切ることができました。

中2...3人、中1...3人という少数精鋭で試合に臨み、1日2試合というハードスケジュールではありましたが生徒は本当によく頑張りました。全員で掴んだ**ベスト16**だったと思います。

保護者の方々の送迎、サポートに感謝いたします。(顧問 牧野)

## ■バスケ部

(高校男子)

1/9(日)R3年度 大分県高校新人大会

1回戦 岩田 52-57 佐伯鶴城

スタメン3名を含む6名を欠くメンバー(寮生はほぼ参加出来ず...)で、6人しかいないという厳しいチーム状況。のらりくらりとゲームを進め、少し離されても我慢して粘り強くくらいつき、残り14秒で同点に追いつきましたが、最後は力尽きました。

4月は万全の状態で大大会に臨めるよう準備します。

(中学男子)

1/16(日)R3年度

全九州中学生春季選手権大会 県予選

1回戦 岩田 18-89 中津豊陽

ミニバス経験者チームの強烈なプレッシャーDFに対応出来ず、なかなかシュートまで行けませんでした。少しずつに良いプレーが出来るようになりましたが、継続することが難しく、悔しい大敗となりました。日々の練習の中で出来ることを少しずつ増やし、差を埋めていきます。

保護者の方々の送迎、サポートに感謝いたします。(顧問 野田)



1/15・16 大学入試共通テスト見送り



## 感染対策短期集中期間の取組等について

令和4年2月4日

大分県新型コロナウイルス感染症対策本部  
大分県社会経済再活性化緊急推進本部

まん延防止等重点措置の指定から9日が経過しました。県民の皆様には外出をできる限り控えていただき、飲食店には営業時間の短縮を協力いただいていることもあり、会食を原因とした感染は大幅に減少するとともに、指定後は、会食によるクラスターは発生していません。

この間、オミクロン株は感染力が強いため、少しでも症状が出たら、大切な人を守るためにも躊躇なく仕事や学校を休むようお願いしています。しかしながら、オミクロン株は感染や発症のスピードが極めて早く、気づかずに出勤や登校をしてしまい、感染が拡大しています。本日の新規感染者数は500名と過去最多となり、人口10万人あたりの一週間の新規感染者数は15日連続で最多を更新している状況です。今年になってから71件のクラスターが発生し、特に学校で17件、保育所・児童クラブ等で22件と、子どもたちを中心に感染が急増しています。家庭を介した感染の連鎖により、高齢者施設にも10件のクラスターが発生しています。

子どもや高齢者を守るためにも、この連鎖を一刻も早く断ち切り、まん延防止等重点措置を解除できるようにしなければなりません。このため、県民の皆様をお願いしてきたこれまでの取組は継続しつつ、さらなる対策の強化を図りたいと考えています。

## 1. 基本的感染対策の徹底

オミクロン株の感染対策においても、常時の換気とマスクの適切な着用、密の回避など基本的な感染対策が重要です。これまで、県内で確認されたクラスターの多くは、マスクをしていても適切に着用できていない場面で発生しています。屋内では、布製やウレタン製のマスクではなく、感染防止効果の高い不織布マスクを使用し、着用に当たっては、ノーズワイヤーを「W」の形に曲げて、鼻にしっかりフィットさせ、隙間ができないようにしてください。鼻を出したりすると、

感染防止効果がほとんど期待できませんので、注意をしてください。

また、不織布マスクを正しく着用していても、50cm以内の近距離での会話では感染確率が約14%と報告されています。マスクを正しく着用した上で、1m以上の距離をとることで感染リスクをほぼゼロにすることができます。マスクの生活が2年間に及び、慣れもあるかと思いますが、改めて効果的なマスクの着用とフィジカルディスタンスの確保をお願いします。

## 2. 感染対策短期集中期間の取組

来週、2/11～13と3連休があります。オミクロン株は感染から発症までが3日程度とされていることも踏まえ、県と市町村では、ともにこの3連休を「感染対策短期集中期間」として、県民の皆様には、感染リスクの高い人混みを避け、家族と過ごすことをお願いするとともに、以下の措置により感染拡大防止の取組をお願いします。

子どもたちを守り、早期に日常の学校活動等を再開させるためにもご理解とご協力をお願いします。

### (1) 学校での対応について

小・中・高校は、部活動や課外活動等を含む教育活動を休止してください。

放課後児童クラブは、できる限り利用の自粛をお願いします。

### (2) 幼児教育・保育施設での対応について

幼稚園や保育所等は、できる限り登園の自粛をお願いします。

保護者の勤務先の事業者におかれても、子育て中の保護者が休めるように、特段の配慮をお願いします。

## 3. ワクチン

オミクロン株の感染予防と重症化予防には、何よりもワクチンの3回目接種が重要です。今回クラスターが発生した高齢者施設においても、3回目接種済みの入所者の症状は軽く、重症化予防の効果は明らかです。

ワクチン接種は、ご自身はもとより、大切な方を守ることとなります。現在、ファイザー社ワクチンに比べて、モデルナ社ワクチンは、比較的予約に空きがあり、早期の接種が可能です。異なるワクチンを打つ交互接種でも予防効果に違いはありません。

県営ワクチン接種センターでは、来週、2/10～2/13の間、2回目接種から6か月経過した小中高の教職員、幼稚園、保育所等の職員の方に向けて接種券なしで接種を行いますので、希望される方は、積極的な接種をお願いします。

折角の3連休ですが、この連休はどうぞ家族団らんを楽しんでください。また、連休中には、特にご家族の体調管理に注意し、発熱や喉の違和感、痛みなど体調に異変を感じた方は、連休明けも躊躇なく仕事や学校を休んでください。

大変ご不便をおかけしますが、この流行を一日も早く収束させるために、どうかご理解・ご協力をよろしくお願いします。

## 3連休はステイホーム

～子どもたちを守るために～

**感染対策短期集中期間：2月11日(金)～13日(日)**

**オミクロン株は感染から発症まで3日程度  
接触を減らして、感染拡大をストップ**



- ・ 人混みへの外出は控えて
- ・ 学校は部活動や課外活動等を休止
- ・ 幼稚園、保育所等は登園自粛
- ・ 事業者は子育て中の保護者にご配慮を

【参考資料】

感染拡大や大規模検査につながった具体的事例について(令和4年2月時点)

◇いわゆる「第6波」において、県内の学校教育の場面で実際に発生した主な事例についてまとめました。各学校等で、感染拡大防止の取組の参考としてください。

	概要	望ましい対応
事例1	屋内での部活動において、マスクなしで発声を伴う活動を行った。	<b>可能な場面では不織布マスク着用を徹底。</b> マスク着用時においても、近距離での発声はリスクの高い活動と認識し、感染状況や衛生管理マニュアルの行動基準を踏まえて実施の適否を検討する。 * 部活動時、発声する場面＝「マスク着用」
事例2	有症状で部活動の大会に参加した。	<b>大会参加時の健康観察を徹底し、体調に異変があるときは顧問に申告するよう指導を徹底。</b> 異変が認められた場合は欠場し、医療機関を受診する。
事例3	屋内において激しい呼吸を伴う運動を行った(マスクなし)。	運動時は身体へのリスクを考慮してマスクの着用は必要ないが、 <b>感染状況によっては、可能な限り屋外で実施することや、屋内で実施する場合は特に呼吸が激しくなるような運動を避ける等を検討する。</b>
事例4	授業中にマスクを外して指導を行った。	<b>不織布マスク着用の徹底。</b>
事例5	有症状で部活動や試験に参加した。	<b>体調に異変があるときは学校・部活動を休むことを徹底、早期の受診。</b>
事例6	PCR検査を受検していることを学校に報告せず登校、その後陽性が判明。	濃厚接触者となった場合やPCR検査の受検及び結果について <b>学校への報告を徹底。</b>
事例7	陽性になったことを学校に報告せず、在籍する学級の他の生徒は通常どおり登校した。	濃厚接触者となった場合やPCR検査の受検及び結果について <b>学校への報告を徹底。</b>
事例8	感染が拡大している地域・時期において、友人同士で大人数の会食、宿泊を行った。	「県民のみなさまへの要請」や各種通知を参照し、 <b>学校外においても自覚ある適切な行動をとること。</b>
事例9	同じ部活の生徒が大人数で会食。	会食は「県民のみなさまへの要請」を踏まえて適切な行動をとること。 <b>部活動終了後は速やかに帰宅することの徹底。</b>
事例10	部室で長時間マスクなしで会話。	<b>不織布マスク着用の徹底。</b> 部活動において活動時以外の行動にも注意する。部活動終了後は速やかに帰宅することの徹底。 * 部活動、食事中 発声する場面＝「マスク着用」